

活動内容（団体ボランティア）

津うキャラえがおとどけ隊

参加便：第12便（8月17日～20日）

人数：15名

活動内容：ゆるキャラとあそぼう、甲冑着付け体験



2班に分かれ計6ヶ所、道の駅やまだ、仮設商店街、仮設団地集会所、福祉施設などでショー、ミニゲーム、甲冑着付け体験の活動を実施。

バス到着の大幅な遅れによる疲労や、炎天下での活動は危険とも隣り合わせではありましたが、可愛いゆるキャラたちの登場にお子さまから年配の方までたくさん人が集まってくださいました。山田町の各所でたくさん笑顔が輝き、子ども達が元気にはしゃぎ回る姿、高らかな笑い声、その光景が周囲の皆さんの空気を一気に鮮やかに染めていく様に、ボランティア冥利に尽きる活動となりました。



代表
原田 浩治さん

発災後「こんな時こそ地域を元気にするキャラクターが頑張らないと!」と思い、津市の皆さんに震災復興を考えるきっかけになるよう募金を中心とした活動を続けています。被災地でキャラクター活動が受け入れてもらえるか心配もありましたが、地元の皆さんに喜んで頂き、その「笑顔」が復興への原動力になればと感じました。本当に参加してよかったと思います。また、活動後にメンバーの熱い思いを涙しながら語り合え、仲間たちと「思い」と「時間」を共有できたことが我々の今後の活動の原動力になると実感しました。ずっとこの「思い」を持ち続けていきたいです。

山田町はまだまだ大変な状況だったのじゃ。それでも前を向いて生活している方、元気に走りまわってお子さまをみてわたくしは元気ももらったぞ。今ゆるキャラができることは、被災地の現状を知ってまちがない情報発信すること。わたくしも、東北のゆるキャラさんと今まで以上に仲良くなったり、山田町の物産ブースに必ず立ち寄っているのじゃ。山田魂じゃ!

わたくしは津市
ゆるキャラ
ゴーちゃんじゃ



合唱団「うたおに」

参加便：第13便（8月24日～27日）

人数：36名

活動内容：現地合唱団との交流、音楽会



36名の大所帯の参加で「ボラパックⅡ」では唯一2台のバスを出し運行。通常のサロン活動とは異なり、合唱団同士の交流を中心とした活動を実施。2日目の午後には合同音楽会を開催するため、他の滞在時間ではみっちり合同練習を重ねました。宿泊場所に現地の合唱団の皆さんを招待し、懇親会を行ない賑やかに親交を深めました。中央公民館で開催した音楽会には町の方もたくさん来場いただき、山田町と三重県の美しいハーモニーが会場を包み、大盛況のうちに終了しました。今後も続く交流に期待を馳せる活動の幕開けとなりました。



代表
内海 広さん

「歌う事が出来てこれほど幸せだったことはありません」念願だった山田町での演奏会が温かい拍手の中終了した。終演後の合唱団団長さんの言葉が忘れられない。震災後、三重から心を込め演奏活動に精を出したが、一度は現地へ!その願いは1年半後、やっと実現。現地に入っすぐこの充足感は凍りついた。震災の爪痕は人々の心の痛みをも浮き彫りとしていた。だがお会いした現地の皆さんの懸命に歌う姿に逆に勇気付けられた。「歌う事を思い出しました」切ないその言葉に「必ずまた来ます!」と答えた。歌の力に支えられ、私達の交流が今始まった。

山田町から



コーラス 泉の会
澤田 ツマ子さん

談話室から始まったみえボラさんとの交流の中で素晴らしい夏を体験しました。3・11以後、歌うことなど考える余裕もなくなっていた私達に声をかけて下さり、三重県と山田町のジョイントコンサートが実現しました。会場の皆さんからは、多くの喜びと感動の言葉を頂き、私達まで感動し涙を流しました。改めて、歌うことの素晴らしさ、音楽の力を想いました。ありがとうございました。

活動内容（団体ボランティア）

ふれ愛スポーツクラブ

参加便：第16便（9月21日～24日）
第20便（11月9日～12日）

人数：1名

活動内容：ファミリーバドミントン体験指導

各便3ヶ所、全6ヶ所、年齢問わず楽しめるニュースポーツ「ファミリーバドミントン」の体験会を実施。体を動かせられる場所が激減した現地で思い切り遊ぶ場所を提供でき、おさまから年配の方までたくさんの方に楽しい時間を過ごしていただきました。

山田町主催のニュースポーツチャレンジ大会において、ファミリーバドミントンが正式種目として採用されるなど、活動の足跡が着実に残っています。



代表
坂井 孝二さん

息子がボランティアに参加して持ち帰った資料に「スポーツ交流」の文字を見つけ、スポーツを通じて被災地に貢献できるのならばと参加しました。私は2回参加し、沢山の子供達とPTAの役員さん、地元のスポーツ団体の方達と「ファミリーバドミントン」を通して楽しく交流することが出来ました。平成25年2月9日、山田町が企画する「ニュースポーツチャレンジ大会」では「ファミリーバドミントン」も正式種目として入りました。みえボラスタッフの方達にも大変感謝しています。

山田町から



鈴木 和子さん
陸翔くん

ファミリーバドミントン、親子で楽しませてもらいました。私は真剣モードで参加しましたが、息子が純粋に楽しみ、なおかつ真剣にスポーツに打ち込む姿を見れたのは嬉しい驚きでした。遠い三重からわざわざボランティアに来てくれたことに感謝しています。

南伊勢高等学校

参加便：第11便（8月5日～8日）

人数：25名

活動内容：茶道体験、アルバムカフェ、海岸清掃、写真洗浄

仮設団地談話室・集会所にて、茶道部によるお茶会、当センターの講習によるアルバムカフェを実施。また、現地ニーズに合わせた海岸清掃や写真洗浄の活動も行いました。

お茶会では凜とした雰囲気の中、久しぶりにお茶を楽しむ参加者や、初めてお茶を嗜んだおさまの反応に一同が和む場面もありました。アルバムカフェでは高校生との触れ合いを楽しむ山田町の方々の姿が見られました。ボラバックとして初の学校単体での運行となりましたが、学生のパワーと柔軟さが際立った活動となりました。



西 尚正 教頭

7月上旬に防災教育の一つとして参加を決めました。出発前は生徒に実感はなくどこか浮かれた様子もありましたが、現地に到着後、津波・火災による大災害の悲惨さに絶句し、自分たちにできる事を自問自答する中『災害直後は食料や衣類、暫くすると住居、整えば心の支援が必要で、こうして来てくれる事が嬉しい。』との声から生徒の様子が変わりました。仮設住宅でのお茶会やアルバムカフェ・海岸清掃、夕食後の反省会に真剣に取り組む姿を見て、今回は日頃学校では学ぶ事が難しい生徒の心に訴える学習ができたように思うと同時に、私自身も多くの事を学びました。

生徒から



2年
中村 美憂さん

被災から1年以上経った山田町に行き、まだまだ復興に時間がかかる事、まだ行方不明の方がいる事、仮設住宅での暮し等の現状を知って辛い気持ちでいっぱいになりました。参加する前と後ではボランティアに対する考えが少し変わったように思います。今回の活動でどのような手助けができたかわかりませんが、実際に現地に行く事はとても大切だと感じました。